

研究・調査報告書

報告書番号	担当
302	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Age-dependent associations of smoking and drinking with non-high-density lipoprotein cholesterol. 喫煙、飲酒と非 HDL コレステロールの年齢依存の関係	
執筆者	
Wakabayashi I, Groschner K.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Metabolism. 2010 Jul;59(7):1074-81.	
キーワード	
喫煙、飲酒、非 HDL コレステロール	
要 旨	
目的： 血清 HDL コレステロール値(HDL-C)は、喫煙と飲酒の習慣の影響を受ける。また非 HDL-C は循環器疾患の潜在的な予測因子として知られている。しかしながら、非 HDL-C と喫煙・飲酒の関係は、年齢とは異なりまだ明らかになっていない。そこで本研究では、喫煙と飲酒と非 HDL-C の関係を検討するために、喫煙、飲酒、非 HDL-C について年齢の交互作用を考慮した。	
方法： 対象 (20-69 歳の日本人男性 54,020 人) は、飲酒者・非飲酒者および喫煙者・非喫煙者に分けて、さらに 10 歳区切りの 5 つのグループに分けた。各年齢階級グループはアルコール摂取量と喫煙本数でさらに 3 つのサブグループに分けた。年齢と BMI で調整した血清非 HDL-C 値をグループ間で比較した。	
結果： 非飲酒者では、20 歳代、30 歳代で喫煙程度による非 HDL-C に差はなかったが、40 歳以上で、非禁煙者に比べてヘビースモーカーの非 HDL-C が有意に高かった。しかし飲酒者では、非喫煙者に比べて喫煙者の非 HDL-C は、すべての年代において高くはなかった。非喫煙者においては、30 歳以上の少量飲酒者および大量飲酒者の非 HDL-C は非飲酒者に比べて有意に低かったが、この違いは 20 歳代ではみられなかった。喫煙者においては、飲酒者も非飲酒者も年齢上昇に伴い、非 HDL-C が増加する傾向にあった。飲酒者と非飲酒者の非 HDL-C の違いは、非喫煙者に比べて喫煙者で大きい傾向があった。	
結論： 以上のように、喫煙者と飲酒者の非 HDL-C は飲酒と喫煙にそれぞれ調整される。喫煙は非飲酒者で非 HDL-C の上昇に関連し、飲酒は非喫煙者で非 HDL-C の上昇に関連する。これらの関係は中年および高齢者にみられたが、若年者にはみられなかった。	